

～院長コラム～

『柴葛解肌湯という漢方薬』

スペイン風邪のときに、柴葛解肌湯(さいかつげきとう)という漢方薬を使って治療した先生がおられます。

木村博昭(1866-1931)先生は、師匠の浅田宗先生(1815-1894)の父が作った柴葛解肌湯や傷寒論出典の大青竜湯(だいせいりゅうとう)を駆使して1人も死者を出さなかったという逸話があります。

『勿誤薬室方函口訣』(柴葛解肌湯の解説)には、麻黄湯と葛根湯の証がまだ治り切らないで、小陽病に入り、嘔吐があったり、渴が甚だしく、四肢が疼き痛むものによろしい、と書いてあります。

実際の外来では、葛根湯と小柴胡湯加桔梗石膏(しょうさいこうかききょうせつこう)を1回1包ずつ、3-4時間おきにガンガン飲みます。

新型インフルエンザのときも有効でした。

今回の新型コロナウイルス感染症にも有効です。

将来現れるであろう未知のウイルス感染症にも使える可能はあります。

急な高熱、グッタリして元気がなく辛い状態には是非使ってほしい漢方薬です。

当院ではインフルエンザに限らず、小児から大人まで普通に使ってきました。

現在でも適応があれば使っています。

急性ウイルス感染症は時間勝負です。

2-3時間、あるいは3-4時間で次々と内服して1日で解熱にもっていく作戦で動きます。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2020年7月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

| 診療時間 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | 8:30~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 午後 | 14:00~15:00 | | △ | | ★ | △ | | |
| | 16:00~18:30 | ○ | ○ | | | ○ | | |

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

